

## 目標達成計画

作成日: 令和2年3月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取り介護について、既に指針やマニュアルの草案は存在するが、共有・明文化されていない。 住み慣れた地域での暮らしの継続を支援するために、重度化や看取りの対応は、避けることができない課題である。	看護職員を配置していない等グループホームにおいて、住み慣れた地域で、暮らしの延長上にある看取りを、いかに安全・安心で安らかに導けるかについて、看取りの指針とマニュアルを作成・共有し、実践に備える。	主治医から、余命宣告がなされ、ご家族もグループホームでの看取りを希望された入居者に対し、当ホームの対応方法や医療連携、ご家族との連携等について、関係者全員が共有できる仕組みを段階を経ながら全員で習得する。	12ヶ月
2	6	身体拘束や虐待防止の取り組みにあたっては、研修や啓発にみならず、所属する介護職員のメンタルケアやストレスマネジメント、アンガーマネジメントも重要な課題である。	介護職員自身のメンタルケア、ストレスマネジメント、アンガーマネジメントについて、研修・協議の機会を設け、ストレスが少なく、対人関係が良好な職場風土を醸成し、結果として、入居者に対し怒りやストレスを向けない環境とする。	職員全員のストレスチェックと、職場におけるストレスや疑問・不満について個別ヒアリングを実施後、改善の方策について、開示・協議を繰り返して、職場の関係・環境改善に繋げる。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。